

R7年度 小学部の取り組み～えがお・げんき・なかよし～

「やりたいことを見つけて・・・」



小学部2・3組では、昨年度から週に2回、クラブ活動に取り組んでいます。「アートグループ」「レクリエーショングループ」の2つのクラブがあり、毎回子どもたちに希望を取り、やってみたいと思う活動に取り組めるようにしています。

「アートグループ」では、絵の具、お花紙、画用紙、セロハンなど様々な素材を使い、絵を描いたり、工作をしたりと一人一人の表現を大切にしながら取り組んでいます。

「レクリエーショングループ」は今年度、『飛ばして遊ぼう』をテーマに飛行機や凧、ブーメランなどを作って遊びました。様々な物を飛ばす中で飛ばす楽しさを子どもたちも感じています。

特に紙飛行機遊びでは、静岡大学理学部の松本先生に来校して頂き、より遠く、より長く飛び紙飛行機の作り方や飛ばし方のアドバイスを頂きました。こうした成果を形にしたいと考え、「二宮康明杯、紙飛行機選手権大会」に出場しました。その結果、見事2名の児童が予選を勝ち抜き、1名の児童が全国大会に出場しました。

全国大会は北海道札幌市で行いました。残念ながら上位入賞には至りませんでした。出場した児童が大会後も何度も紙飛行機を飛ばして遊ぶ姿は心から紙飛行機の楽しさを感じていることが伝わりました。

これからも子どもたちが好きなこと、やりたいことを見つけて思う存分楽しさを感じられるように活動を続けていきたいと考えています。



「先輩との交流」



小学部の子どもたちは、昼休みになると元気に外に出て遊んでいます。小学部の児童が教員と一緒に追っかけっこをして遊んでいると、中学部、高等部の生徒も一緒になっておにごっこが始まりました。全学部縦割りのグループ活動「ふれあい活動」で年間を通して一緒に活動しており、ペア活動も取り入れているため、児童生徒同士が自然に触れ合えるのだと感じています。おにごっこ以外にも、中学部の生徒が「だるまさんが転んだやろう！」と言葉を掛けると「やる〜！」とみんなで楽しむ姿が見られました。全学部が一緒になって遊び合える、そのようなつながり、環境が附属特別支援学校のよさだと感じています。



「自分の身を自分で守るために・・・」



小学部では、昨年度から自分の身を守るための授業に取り組んできています。昨年度は、積み重ねたブロックの上に立ち、どの高さまでいったら怖いと感じるかなど、自分の危険に気づくことを体験しながら学びました。今年度は、日常生活の中で、安心な場所、危険な場所について考えたり、実際に学校の中で危険な場所ってどんなところかを探したり、道具の操作の仕方について学んだりしました。授業を通して、危ないと分かっていることをやらなくなったり、友達や低学年の子が危ないことをしているときに、「危ないよ。」「落ちちゃうよ。」など声を掛けたりすることができるようになりました。今後も授業で取り上げたり、普段の生活の中で危険について考えたりする機会を設定しながら、自分の身を自分で守る力を高めていきたいと考えています。

